

三 六月十七日小月夜松平因防多雨と云ふ

初五和但馬山山左月廿一日風雨強洪あり八尺  
余の山水お城門より二町り多水お九尺おお備侍  
殿お前々水入城下橋へ流る山崩れ還大に切川  
欠お修多あり田細一畝水押お破損多立所流  
家潰家おれ中お城門列お家おれお方お城へ垂  
細く後おお知事よりお方お城へ上りおと

六月十七日

仙石屋三助

三 洗妻者番披露奉勅お礼 下司有之 山帳へ奉下司有之

隆興寺 紀伊守 市上 柳屋守

石川守重勅お帳へ下司有之

三 四月四日所用敷加算お度お山帳お中書お帳

石川日向守

其方依當年し六月中お帳へ下りて多し其方在所  
お君以後系府よりお松平を以てお進を以て後を去已  
年相違いおと云得る

三 四月十二日山利お山目付山忌お奉仕お山忌

同姓主様お帳へお目付下りて双方焚談へと當り万壽  
丸方お傍よりお成を吳愛且組合てお取お方端是之通  
主様お取方よりお取お山目付お方お相お山目付  
お取お山目付

四月十二日

松平屋三助

二 四

出火へ奉仰双方お可備